

【2024年度実技入試問題】

台の上のモチーフを鉛筆デッサンしなさい。(120分)

サイズ：四つ切り画用紙

<注意点>

- ・画用紙の使用はタテ・ヨコ自由。イーゼルの高さや位置は少し変えてもよい。
- ・使用する鉛筆の種類や本数に制限はない。

<解説>

試験は低めの台にモチーフを置き、その周りを4、5人の受験生で囲み、イーゼルを使用して描く形式である。また、モチーフはどこから見ても有利不利が出ないよう座席に配慮した。

出題したモチーフは、木製の置き台、茶色のガラス瓶、パプリカの組みモチーフである。

木製の置き台は、立方体の形状を正確に捉えることが重要である。更には木目の質感を表現できればよい。

茶色のガラス瓶は円柱として捉えることが重要である。楕円のカーブは中心線を軸に左右対称であることを理解してほしい。また、ガラスの質感特有のハイライトや映り込みをしっかりと描くことで質感表現に繋げてほしい。

パプリカは赤と黄の固有色の差を付け、かつそれぞれの陰影表現を要する。また、台の周りに4つのパプリカを配したことでできる遠近感が感じられるよう接地面にできる影の強弱があるとよい。

モチーフ全体が同一平面上に配置されているという認識を持って取り組むことも必要である。更には、鉛筆の濃さやタッチを変えることで質感の違いを描き分けることができればなお高評価である。

今回の入試ではモチーフの明度差を理解し、瓶やパプリカのディテールを最後まで描き込む受験生が多く見られた。

<採点の基準>

- ・形が正確で立体の理解できているか。
- ・画面に対して適度な大きさと描いているか。
- ・陰影表現ができているか。
- ・質感の描き分けができているか。

※デッサン練習の際に、中学校の美術の先生などに講評していただくことをお勧めします。

